

研究構想シート	学校名	雲南市立田井小学校
	氏名	小島 美喜
A 研究主題 自分の思いをもち、伝え合おうとする子供の育成 ～個に応じて指導を通して～		
B 研究の目的 自立した学習者を育てるための授業のあり方を明らかにするため		
C 子どもの実態 <ul style="list-style-type: none"> ・極小規模校であり、発言の機会が多いが、「伝えたい」という気持ちが弱い。 ・教師の目や支援が行き届きやすい一方で、すぐ教えてもらえるため、自分で考える力が弱い。 ・ICTの活用は年々増えてきており、タブレット端末の技能も身につけてきている。 ・少人数ではあるが、個人差が大きく、特別な支援を必要とする児童も多い。 	E 手立て・内容（研究仮説） (1) 児童一人一人の強みや弱みを把握し、「指導の個別化」「学習の個性化」を図れば、自分に合った学習方法を身につけ、意欲的に学習に取り組む児童が育つだろう。 (2) 伝え合う場や協働的な学びの場の設定を工夫すれば、他者との交流を自身の学びに生かす児童が育つだろう。	D めざす子どもの姿 <ul style="list-style-type: none"> ・自分の伝えたい思いや考えをもち、効果的に伝えようとする児童 ・自分に合った学習方法を見つけ、自信をもって学習に取り組む児童 ・他者との交流や協働を通して、自分の思いや考えを確かなものとする児童
	F 検証方法 <ul style="list-style-type: none"> ・研究授業、協議を通して子供の変容から仮説を検証する。 ・学期に1回の児童アンケートから実態を把握し、仮説を検証する。 	
	G 研究計画 5～6月 研究構想の共通理解 課題の共有 7月 研究授業・協議①、児童アンケート① 8月 職員研修 10月 研究授業・協議② 11月 研究授業・協議③、児童アンケート② 12月 研究授業・協議④ 1月 研究授業・協議⑤ 2月 児童アンケート③、研究のまとめ 3月 研究紀要作成	